

打越 友実

2 学術論文

- 1) 打越友実. (2022). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究—研究方法の検討を中心として—. 福祉学, 2(1), 2-17.

7 学会等での活動

- 1) 打越友実, 小林理, 赤木拓人, 新保幸男: 虐待通告をめぐる倫理的ジレンマにおける価値・倫理の位置づけ—Dolgoffら(2012)の定義を中心として—. 2022年度日本子ども家庭福祉学会第23回全国大会, オンライン, 2022年6月12日.
- 2) 小林理, 打越友実, 赤木拓人, 新保幸男: 社会的養護における人材育成の課題—全国調査にみる人材背景の多様性を中心に—. 2022年度日本子ども家庭福祉学会第23回全国大会, オンライン, 2022年6月12日.
- 3) 新保幸男, 打越友実, 赤木拓人, 小林理: 子ども食堂の多機能性に関する考察—福祉避難所とグループホーム—. 2022年度日本子ども家庭福祉学会第23回全国大会, オンライン, 2022年6月12日.
- 4) 赤木拓人, 打越友実, 小林理, 新保幸男: 国外での代理懐胎により生まれた子との特別養子縁組—子の利益のための特別の必要性を中心に—. 2022年度日本子ども家庭福祉学会第23回全国大会, オンライン, 2022年6月12日.
- 5) 打越友実, 小林理, 赤木拓人, 新保幸男: ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究—テキストマイニングによる分析結果への一考察—. 第35回日本保健福祉学会学術集会, オンライン, 2022年10月1日.
- 6) 新保幸男, 打越友実, 赤木拓人, 小林理: 福祉避難所と子ども食堂. 第35回日本保健福祉学会学術集会, オンライン, 2022年10月1日.
- 7) 打越友実, 小林理, 新保幸男: ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究—自己決定に関する倫理的ジレンマに着目して—. 2022年度一般社団法人日本社会福祉学会関東部会研究大会, オンライン, 2023年3月19日.
- 8) 新保幸男, 打越友実, 赤木拓人, 小林理: 児童虐待への対応に関する検討—保育所・区役所・児童相談所の関係を中心に—. 2022年度一般社団法人日本社会福祉学会関東部会研究大会, オンライン, 2023年3月19日.
- 9) 打越友実 (2022). ソーシャルワークの価値と倫理における「自己決定」の位置づけに関する研究①. 福祉学研究会第21回学術集会要旨集, 5-10, 2022年月11日.
- 10) 打越友実 (2022). 虐待通告をめぐる倫理的ジレンマにおける価値・倫理の位置づけの検討—Dolgoffら(2012)の定義を中心として—. 福祉学研究会第22回学術集会要旨集, 8-9, 2022年4月25日.
- 11) 打越友実 (2022). Dolgoffら(2012)によるソーシャルワークの「価値」と「倫理」の定義に関する考察. 福祉学研究会第23回学術集会要旨集, 24-27, 2022年5月9日.
- 12) 打越友実 (2022). 倫理的ジレンマに関する研究動向. 福祉学研究会第24回学術集会要旨集, 13-17, 2022年5月23日.
- 13) 打越友実 (2022). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する海外の研究動向①.

- 福祉学研究会第25回学術集会要旨集, 9 - 13, 2022 年 6 月 13 日.
- 14) 打越友実 (2022). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する海外の研究動向②. 福祉学研究会第26回学術集会要旨集, 4 - 10, 2022 年 6 月 27 日.
 - 15) 打越友実 (2022). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究—文献収集と分析方法を中心として—. 福祉学研究会第27回学術集会要旨集, 3 - 6, 2022 年 7 月 11 日.
 - 16) 打越友実 (2022). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究②—文献収集と分析方法を中心として—. 福祉学研究会第28回学術集会要旨集, 3 - 9, 2022 年 7 月 25 日.
 - 17) 打越友実 (2022). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究③—Akbar (2019) の分析を中心として—. 福祉学研究会第29回学術集会要旨集, 4 - 15, 2022 年 8 月 8 日.
 - 18) 打越友実 (2022). 海外のソーシャルワーク研究に見る倫理的ジレンマの実態と倫理綱領活用法の検討—研究背景や目的を中心として—. 福祉学研究会第30回学術集会要旨集, 7 - 10, 2022 年 8 月 22 日.
 - 19) 打越友実 (2022). 海外の研究動向から見出す倫理的ジレンマに対するソーシャルワークの発展的要素. 福祉学研究会第31回学術集会要旨集, 7 - 12, 2022 年 9 月 12 日.
 - 20) 打越友実 (2022). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究—テキストマイニングによる分析結果への一考察—. 福祉学研究会第32回学術集会要旨集, 5, 2022 年 9 月 26 日.
 - 21) 打越友実 (2022). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究④—Taylor(2006) の分析を中心として—. 福祉学研究会第33回学術集会要旨集, 4-16, 2022 年 10 月 10 日.
 - 22) 打越友実 (2022). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究⑤—「クライアントの最善の利益」と「自己決定の尊重」を中心として—. 福祉学研究会第34回学術集会要旨集, 3-25, 2022 年 10 月 24 日.
 - 23) 打越友実 (2022). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究⑥—「クライアントの最善の利益」と「自己決定の尊重」を中心として—. 福祉学研究会第35回学術集会要旨集, 3-7, 2022 年 11 月 14 日.
 - 24) 打越友実 (2022). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究⑦—学術雑誌 IJSWVEにおける2004年から2006年の収録論文の傾向—. 福祉学研究会第36回学術集会要旨集, 3-10, 2022 年 11 月 28 日.
 - 25) 打越友実 (2022). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究⑧—学術雑誌 IJSWVEにおける2004年から2006年の収録論文の傾向—. 福祉学研究会第37回学術集会要旨集, 5-12, 2022 年 12 月 12 日.
 - 26) 打越友実 (2022). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究⑨—自己決定に関する倫理的ジレンマに着目して—. 福祉学研究会第38回学術集会要旨集, 6-10, 2022 年 12 月 26 日.
 - 27) 打越友実 (2022). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究⑩—自己決定に関する倫理的ジレンマに着目して—. 福祉学研究会第39回学術集会要旨集, 6-13, 2023

年 1 月 9 日.

- 28) 打越友実 (2022). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究①—「クライアントの最善の利益」と「自己決定の尊重」を中心として—. 福祉学研究会第40回学術集会要旨集, 6-26, 2023 年 1 月 23 日.
- 29) 打越友実 (2022). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究①—「クライアントの最善の利益」と「自己決定の尊重」を中心として②—. 福祉学研究会第41回学術集会要旨集, 30-50, 2023 年 2 月 13 日.
- 30) 打越友実 (2022). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究①—「クライアントの最善の利益」と「自己決定の尊重」を中心として③—. 福祉学研究会第42回学術集会要旨集, 4, 2023 年 2 月 27 日.
- 31) 打越友実 (2022). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究①—自己決定に関する倫理的ジレンマに着目して②—. 福祉学研究会第43回学術集会要旨集, 7-31, 2023 年 3 月 13 日.
- 32) 打越友実 (2022). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究①—自己決定に関する倫理的ジレンマに着目して③—. 福祉学研究会第44回学術集会要旨集, 3-13, 2023 年 3 月 26 日.

8 学内教育活動

- 1) 学部担当科目: 社会福祉基礎演習 I・II (分担), ソーシャルワーク実習指導 I・II (分担), ヒューマンサービス総合演習 (補助), ソーシャルワークの基盤と専門職 (ゲストとして分担, 2022 年 12 月 16 日, 2023 年 1 月 6 日).
- 2) 実習指導者懇談会・ソーシャルワーク実習報告会の運営, 社会福祉士実習指導者講習会の運営.

9 学内各種委員会活動

- 1) 社会福祉学科オープンキャンパス・ミニオープンキャンパスの企画・当日運営.
- 2) 新年度学科別オリエンテーション担当.
- 3) うみかぜ祭, 当日受付補助.
- 4) 学部入試の特別選抜・編入学試験、一般選抜(前期日程・後期日程)における面接会場への誘導業務(2022 年 11 月 23 日, 2023 年 2 月 25 日, 3 月 12 日).
- 5) 大学入学共通テスト試験 の試験官業務(2023 年 1 月 14 日).
- 6) 社会福祉学科 SNS 担当.